

メディアコミュニケーションⅠ

指導目標	社会生活におけるメディアの影響や役割を踏まえ、高度情報社会における情報基盤としての電子メディア、マルチメディアに対する理解を深める。 その上で、メディアを使ったコミュニケーションについて実体験を積みリテラシーを身につけることを指導目標とする。 テキストの項目に従って次の項目を学ぶ。 ①アサーショントレーニング ②メディアの歴史 ③インターネットの社会問題 ④メディアリテラシー
------	---

教材	教科書：メディアコミュニケーションⅠテキスト、プリント資料 レポート	レポート 面接指導 放送 効果測定・試験	全6回 必要時間数：8時間 なし 年度末試験（1月）
----	---------------------------------------	-------------------------------	-------------------------------------

単位	2単位
評価	【①知識・技能】主に年度末試験での成果にもとづき評価します。（一部、レポート課題の評価も含まれます） 【②思考・判断・表現】主にレポート各回の学習内容・成果にも続き評価します。 【③主体的に学習に取り組む態度】レポート提出状況（提出期限）、スクーリング（セッション）出席状況（必要時間の出席充足）、VOD視聴状況にもとづき評価します。 上記①～③の総合評価により、年度末に5段階で評定を決定します。

	添削指導（レポート）	面接指導（スクーリング）	放送（NHK高校講座）	オンライン指導	中間到達度チェック 年度末試験
月	回数提出期限 指導単元・項目	週 指導内容・学習活動等	回 内容	内容	内容・範囲
4		1			
		2			
		3			
		4			
5		1		第1回ビデオオンデマンド 自己紹介、学習内容の確認。アサーション、アサーティブ行動とは何か、アサーション権宣言とそのもとになった世界人権宣言についての解説。	
		2			
		① 1年間の見通しの確認と、セッションの臨み方の確認、メディアの活用に向けて（タイピングの練習）、自分の気持ちを相手にどう伝えるか？アサーションとは何か？アサーション権宣言についてどう考えるか。			
6	第1回 第2回	1 2		第2回ビデオオンデマンド アサーティブ行動の要素、アサーティブ行動に対比する形で受け身的、攻撃的行動がどのようなものかを解説する。具体例から3つの行動をセッションで考えられるように筋道を立てる。	
		② アサーティブ行動の4つの要素と3つの行動。事例を取り上げ、アサーティブ行動は、具体的にどのような行動なのかをイメージする。受け身的、攻撃的行動は相反する行動のようであるが、共通している点が多いことに気づく。			
		③ 自分の行動計画を確認しよう（SCAT）。 アサーティブマトリックスの1つである「自己開示」と、「自己顕示」との違いを明確にする。ジョハリの窓の「解放の窓」を広げることで、人との関係も築きやすくなる。		第3回ビデオオンデマンド アサーティブ行動に向けた自己分析テスト（SCAT）の紹介。アサーティブになるための基本的な炭塵コミュニケーションノ課題の解説。SCATの取り組む目的を確認する。	

			④ アサーティブ行動に向けたトレーニング 4 認知モデルから思考を鍛えることの重要性を確認。論理療法（ABC理論）からラショナルビリーフ、イラショナルビリーフを考える。			第4回ビデオオンデマンド 認知モデルを基盤として、アサーティブ行動に向けた思考のトレーニングを紹介。セッションで取り組む課題に向けて考え方を確認する。	
7			⑤ アサーティブ行動に向けたトレーニング 1 傾聴行動、共感について事例から考える。同じ状況から、その状況から得る気持ちや感情は、人によって異なる。思い込みをしないことを確認。			第5回ビデオオンデマンド 感情のトレーニングの紹介。相手の話を聞き、その思いに寄り添う行動として、傾聴行動、共感的態度について解説。共感と同感の違いを考える投げかけ。カールロジャースの紹介。	
	第3回	行動のトレーニング 傾聴行動 自分の感情に目を向ける（LADDERモデル、DESC法） 1メッセージでの伝え方	3 4				
8			1 2				
			3 4				
9			1 2			第6回ビデオオンデマンド 行動のトレーニングの紹介。3つの行動（問題解決行動、言語行動、非言語行動）の解説と、それぞれの行動の特徴について紹介。感情の基本原則から、否定的感情も健全なものであることを説明。	
			⑥ アサーティブ行動に向けたトレーニング 3 問題解決行動に向けて考える（LADDERモデル、DESC法） 4 否定的メッセージの伝え方を1メッセージから考えよう。（事例を通して）				
10	第4回	メディアとメッセージの基本 メディアとは何か さまざまな「メディア」「メッセージ」との違い	⑦ 1 メディアとは何か。メッセージが同じでもメディアが違えばメッセージの印象（受け止める内容）も変わってしまう点を考える。セッションも後半に入り、生徒からの発言を一層促すよう、雰囲気づくりを意識する。			第7回ビデオオンデマンド 今回からメディアについて考えることを説明。メディアとは何か、メディアの種類、メディアの歴史について解説。	
			⑧ 3 メディアの1つであるインターネットとは何か。インターネットとのつきあい方を考える。自分が発信者になるときに留意すべきことを考える。 4 悪質な行為とエチケットは分けて考えることの理解を促す。			第8回ビデオオンデマンド インターネットとは何か、インターネットの歴史について説明。インターネットとオンラインシステムの違いを解説。インターネット上のエチケットについて説明。	

11	第5回	インターネットの生い立ち インターネットとは何か インターネットでのマナー  個人情報保護、著作権の侵害 発信者としての留意点など	1			第9回ビデオオンデマンド 個人情報保護法、知的財産権 (著作権)について解説。メ ディアの発信者として、個人情 報の取り扱いや著作権について の知識がいかに重要かというこ とを伝える。	
			2				
12	第6回	メディアリテラシー 3つの活動、8つのコンセプ トの理解	⑨ 3 4				
			⑩ 1 2				
1			1				年度末試験(範囲すべて) 〔ポイント〕 ・アサーティブ行動とは ・3つの行動 ・ABC理論とイラショナル ビリーフ、ラショナルビ リーフの理解 ・著作権とは
			2				
2			3				
			4				
3			1				
			2				
			3				
			4				